

事前工事について

1. 取付設置をされる方へのお願い

- 取付設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、取付設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- システムキッチン本体組立設置とそれに伴う関連工事（建設工事）は区別して行ってください。関連工事については法令規定に従った工事（有資格者等による）が必要になります。

2. 事前の取付設置打合せ（取付・設置工事事前打合せチェックシートを参考に打合せを行ってください。）

- (1) 建築図面、製品図面（製品図・取付設置図など）、製品明細書、内容確認書等で現場の状況と照らし合わせて不都合がないか、必要寸法の確保（高さ、幅、奥行きなど）、吊戸棚・レンジフードの取付下地位置及び下地材料と下地寸法、調理機器・レンジフード取付部などの不燃仕様及び電気・設備工事の位置出し、内装仕上げの仕様打合せを行ってください。

- 1) 床面の補強 床面は製品の荷重に耐えられる材質・構造であることを打合せてください。

耐荷重の目安

- ① I 型間口2550mmの場合：重量600kg以上 ② ワイドカウンター間口2600mmの場合：重量870kg以上

- 2) 吊戸棚やレンジフード等の取付下地推奨構造

木質壁の場合		軽量鉄骨壁の場合	
下地桟木	下地合板	下地桟木	下地合板
取り付けビス長さ	取り付けビス長さ	取り付けビス長さ	取り付けビス長さ
・桟木で虫食いや腐れのない木材 厚み30mm以上、幅90mm以上	・JAS規格品の広葉樹系（ワッ合板） 以上の強度を有し節や虫食いや 腐れのない材料で厚み12mm以上 ・吊戸棚全体の大きさの下地にし てください。	・桟木で虫食いや腐れのない木材 厚み30mm以上、幅90mm以上	・JAS規格品の広葉樹系（ワッ合板） 以上の強度を有し節や虫食いや 腐れのない材料で厚み12mm以上 ・吊戸棚全体の大きさの下地にし てください。
コンクリート壁直付	コンクリート壁GL工法の場合及びALCの場合 直接取付できません、木軸または軽量鉄骨で壁を新設してください。		
	下地桟木	下地合板	
取り付けビス長さ	取り付けビス長さ	取り付けビス長さ	
・コンクリート壁へΦ6mmのドリルで深さ Min 40mmの下穴をあけ指定の アンカープラグを取付てください。	・桟木で虫食いや腐れのない木材 厚み30mm以上、幅90mm以上	・JAS規格品の広葉樹系（ワッ合板） 以上の強度を有し節や虫食いや 腐れのない材料で厚み12mm以上 ・吊戸棚全体の大きさの下地にし てください。	

2) 吊戸棚の取付壁の強度

一般的な吊戸棚を取付設置する壁面は以下を目安とした強度を確保した仕様になるよう打合せてください。

間口900mm 奥行385mm 高さ900mmの吊戸棚の重量350kg（収納物含む）

間口900mm 奥行440mm 高さ900mmの吊戸棚の重量450kg（収納物含む）

(2) 取付設置と工事区分の確認

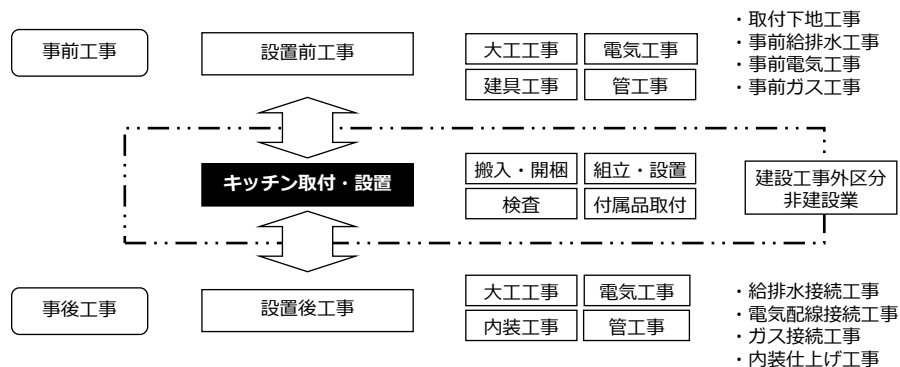
工事区分

警告

本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス工事、管工事（給排水）、建具工事など区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区分して行ってください。



■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



■建設工事業者と事前工事について打合せを行ってください。

■取付・設置前に事前工事が行われているか事前現場調査で確認してください。

■取付・設置後は設置後の工事業者へ引き継ぎを行ってください。

(3) 搬入路の確認

1) 現場地図による搬入路の確認

車両の大きさにより、現場へどのくらいのところまで進入出来るか確認してください。

2) 搬入方法の確認

階段やエレベーターを使用するのか、クレーン等を使用する必要があるのか確認してください。

3. 事前現場調査（取付・設置工事現場調査チェックシートを参考に確認を行ってください。）

(1) 躯体の確認

事前工事が確実にされているか確認してください。

事前現場確認の結果、不具合が生じた場合は建設現場管理者へ内容を連絡してください。

1) 設置場所の状態確認

①床面・壁面の水平垂直レベル、強度、仕上げ

- ・天井高さ、床のレベル、仕上げ
- ・壁の仕上げ、不陸、壁位置
- ・梁、廻り縁、窓、巾木寸法など
- ・壁面床面の隙間や配管類、配線類の貫通部隙間より空気の流入がないこと。
湿った空気が流入するとキャビネット裏側にカビが発生することがあります。

②取付用下地の位置と仕様

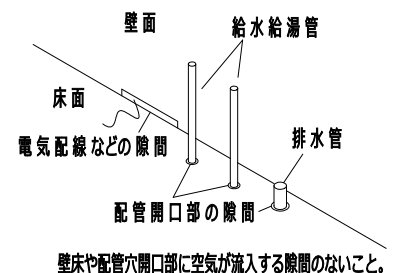
- ・キャビネット、レンジフード取付部の下地位置と材質、寸法
- ・天井吊タイプのレンジフードは支持構造の強度、野縁、天井開口、天井仕上げなど

③壁面及び天井面は、関連する法令・規定に準じた構造材や仕上げ材であること

- ・建築基準法：内装制限、シックハウス症予防関連規制
- ・消防法、火災予防条例：火気器具の設置に関する周囲の不燃仕上げなど
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

④給水、給湯、排水管の位置と仕様

- ・キッチンユニットや機器類の止水栓、分岐栓、配管位置と仕様
- ・改修時の元の設備からの変更、排水管の横引き部の垂れ下がりなど。



- ⑤ガス、電気、IH等加熱機器の配管配線位置
- ⑥照明、コンセント等電気配線の位置と仕様
- ⑦レンジフードの排気位置
- ⑧躯体と製品の干渉
 - ・扉、フットスペース、引出の開閉の際に見切り材、巾木、壁などと干渉し引出が開かない等不具合が生じないこと。
 - ・吊戸棚が窓枠に干渉し不具合が生じないこと。
 - ・製品設置の際に巾木、廻り縁が邪魔にならないこと。

(2) 搬入経路と仮置き場所の確認

- 1) 製品の荷卸し場所
- 2) 現場までの搬入経路
カウンタートップなど振り回せるスペースがないと部屋へ搬入できません。

4. 取付設置前の確認

(1) 現場確認

- 事前現場調査の通りになっているか確認してください。
現場確認の結果、不具合が生じた場合は建設現場管理者へ内容を連絡してください。
- ・製品搬入前に床面が仕上がっていること。
 - ・床面に対して壁面が垂直に仕上がっていること。
 - ・壁面コーナー部は直角に仕上がっていること。
 - ・取付設置図に示す位置にP1記載の補強材があることを針タイプの下地チェッカーで確認してください。
 - ・製品を壁内で設置する場合は、仕上がり面（キッチンパネル、タイル等）で製品寸法+5mm程度寸法確保してください。

(2) 搬入

搬入にあたっては、他の建材や建具、床、壁、その他エレベーター庫内などを傷つけないよう搬入路を養生してください。

(3) 荷受・製品チェック

- 1) 製品の外観を確認してください。梱包材に異常がない場合でも、損傷がある場合があります。
- 2) 製品が図面と同一であること、注文の色であることを確認してください。
- 3) 機器類は開梱前に製品ラベルなどから周波数・電圧、ガス種などが注文した製品と合っているか確認してください。

⚠ 注 意

床面が製品の荷重に耐えられる材質や強度であることを確認する。
足りない場合は補強工事をする。

床の強度が弱いと床やキッチンが沈み、不具合が発生する原因になります。

床面壁面に通気する隙間や配管類、配線類の貫通部の隙間がないこと。

隙間があると外気や床下の湿った空気が流入しキャビネット裏側に滞留しカビが発生することがあります。

